

# Journal of Otemae University Institute of Global Nursing (JIGN)

## 大手前大学国際看護研究所研究集録

### 原稿執筆要領

#### 1. 投稿の定め

大手前大学国際看護研究所規程第3条に基づき、大手前大学国際看護研究所研究集録 (Journal of Otemae University Institute of Global Nursing : JIGN)の原稿執筆要領を以下のとおり定めるものとする。

#### 2. 投稿資格

著者に本学教員が1名以上含まれていること。専任教員は単独執筆1編に加え、共同執筆の共著者として、もう1編の執筆が可能とする。可能な限り、執筆者の研究分担および執筆分担を明示すること。

#### 3. 区分

投稿論文は、総説、原著論文、報告、その他で、それぞれの内容は以下の通りである。

##### 1) 総説 (Review article)

看護学及び近接領域に関わる特定のテーマについて、多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて歴史的背景、重要性、進捗状況、将来の方向性など総合的に学問的状况を概説し、考察や展望を明らかにしたもの。

##### 2) 原著論文 (Original article)

研究が独創的で、新しい知見と実践への示唆が論理的に示されているもの、学問的に意義が明らかなもの。JBI プロトコルに沿って記述されたシステムティックレビュー、RodgersあるいはWalker & Avant等のアプローチによる概念分析は、大手前大学国際看護研究所編集委員会（以下、編集委員会と称す）の判断により原著論文として扱うことがある。

##### 3) 報告 (Report)

看護の視点で改善、あるいは開発したシステム、援助技術、物品等の実用的価値のある事例を記述した実践に関する報告及び新しいもしくは有用な援助技術の適用例を論文形式にまとめたもの。

内容が原著論文には及ばないが、研究結果に意義があり、看護学及び近接領域の発展に寄与すると認められる提案・提言、有用な調査により研究や実践活動の参考となり、公表の意義があると認められるもの。

##### 4) その他

上記以外において、編集委員会が適当と認めたもの。

#### 4. 研究倫理

本研究が倫理的配慮のもとに実施されたものであることを明記すること。

- 1) 対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている。
- 2) 対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている。
- 3) 個人データが守秘され、個人情報保護されている。
- 4) 研究者としてのモラルに反していない、引用文献を明記し盗用がないこと、他学会誌と重複投稿でないこと
- 5) 原著論文、報告の場合は、所属機関などの倫理委員会の審査を受けている。

#### 5. 利益相反

- 1) 論文投稿時に著者全員について、発表内容に関する企業・組織または団体との前年度1年間のCOI状態を「利益相反事項届出書」（様式3）に記載する。
- 2) 当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を「謝辞」の欄の次に、「利益相反」の欄を設けて記載する。利益相反状態が存在しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

#### 6. 投稿手続き

- 1) 提出原稿は MS-Word で作成し、図表は Excel で作成する。
- 2) 書式は A4 横書きとする。余白を左右上下 30mm に設定し、各ページの下中央にページ数を記入する。
- 3) 和文原稿の場合、文字数 35 字×28 行に設定し、適切な行間をあける。英文原稿の場合、ダブルスペースで作成する。
- 4) 用いる言語は日本語または英語とする。本文のフォントは、日本語の場合 MS 明朝、英語の場合 Century とし、フォントサイズ 10.5 ポイントを使用する。英文の場合、査読の時点でネイティブ・チェックを受けるよう指示されることがある。
- 5) 構成は、タイトル、著者名および所属機関、要約、キーワード、本文（図表含む）、引用および参考文献とする。その他、必要に応じて結論、付録や謝辞などを含めてもよい。

#### [原著論文]

本文は、緒言、目的、方法、結果、考察、で構成し、引用および参考文献を含めて和文の場合16,000字以内、英文の場合 10,000 words 以内で作成する（和文、英文ともタイトルおよび要約は文字数に含まない）。図表は1ページ400字または250wordsとして換算する。図表には通し番号をつけ、本文とは別に、1点ごとに1ページで作成する。和文要約400字程度および250 words 程度の英文要約を付ける。また、キーワード（和英同内容のもの）は5つ以内とする。

#### [総説・報告・その他]

原著論文に準ずるが、内容に応じ、適宜変更してもよい。和文の場合 12,000 字以内、英文の場合 7,500 words 以内で作成する。

- 6) 見出しは、以下に示すとおり記載する。

章： I、II、III… 節：1、2、3…

項：1)、2)、3) …

目（項の下層）：(1)、(2)、(3) …

- 7) 引用および参考文献は、APA 方式で記載する。詳細は「APA 論文作成マニュアル」

または「Publication Manual of the American Psychological Association: The Official Guide to APA Style」に準ずる。

- ・冊子版学術誌掲載論文：著者名.(出版年).論文タイトル.収録誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ.
- ・オンライン版学術誌掲載論文(DOIのない場合)：著者名.(年号).論文タイトル.収録誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. URL
- ・オンライン版学術誌掲載論文(DOIのある場合)：著者名.(年号).論文タイトル.収録誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. doi: DOI 番号
- ・書籍：著者名.(出版年).書籍タイトル.発行元.

- 8) 投稿前には、投稿論文チェックリスト(様式2)に沿って確認し、不備のないよう整える。
- 9) 原稿の投稿は角2封筒に封入し「JIGN投稿論文在中」と表に記載し、あわせて論文提出日も記載する。論文は3部用意し、1部は氏名を記載、2部は氏名記載なしのものをそれぞれクリップで留めておく。提出先は大阪キャンパス図書館窓口カウンターとする。投稿論文チェックリスト(様式2) 利益相反申告書(様式3)も同時に封入する。

## 7. 執筆届

投稿予定者は、執筆届(様式1)に必要な事項を記載して、刊行スケジュールの執筆届受付期間内に編集委員長へ提出すること。

## 8. 原稿受付・採否

- 1) 原稿の投稿は刊行スケジュールに沿って受付期間中に受け付ける。研究集録の発行は年2回である。
- 2) 投稿規定にそっていない論文は、受け付けないことがある。
- 3) 原稿の投稿日を受付日とする。投稿後、執筆届(様式1)に記載されているメールアドレスに編集委員会より論文の受領をメールで通知する。
- 4) 論文の査読は、編集委員会が指名した者で査読される。採否は、査読を経て編集委員会において決定する。
- 5) 査読者の判定により、論文の区分の変更を著者に進めることがある。審査によって返送され、再提出を求められた原稿は、返送日から所定の日時までに再投稿すること。所定日時までに再投稿がない場合は、新規受付として扱われる。

## 9. 著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は、学校法人大手前学園著作物に関する規程に基づき、大手前大学に帰属する。

## 10. 費用

掲載料は発生しない。

## 11. 電子化およびWeb公開

執筆届において電子化およびWeb公開について許諾した場合は、大手前大学リポジトリへの登録および公開を認めたこととする。なお、別冊は発行しない。